

中野区町会連合会婦人部全体会

平成 21 年 6 月 29 日

於 野方W I Z 区民ホール



講演会

テーマ 「地域の支え合い」

講師 NPO法人 『人と人をつなぐ会』 代表 本庄 有由 氏

プロフィール

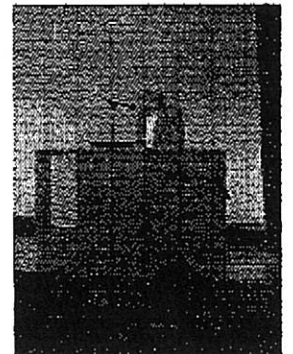
ドキュメンタリー映像のプロデューサー。新宿区の戸山団地に住む。団地自治会役員をしていた時、高齢者の悲惨な孤独死の状況を何とかしようと 2007/11 戸山団地の住民を中心に NPO 法人を設立。福祉支援事業として高齢者世帯や一人暮らし世帯に緊急通報システム、見守り端末機の設置普及の活動、暮らしのネットワークづくりの提案活動を通じ独居高齢者の生活支援に取り組んでいる。他に映像文化事業、地球温暖化改善事業

講演要旨

新宿区にある都営戸山団地は、全 17 棟約 2300 戸数という大規模団地。建替えになった他の団地からの高齢者入居が増え、都心にありながら高齢者(65 歳以上)が過半数を占める「限界集落」と呼ばれる。自治会も管理人もいない中、住民の高齢化が進むと様々な問題が生じてくる。住民同士で助け合うにも高齢者ばかりで見守る人が少なく、見守られる人ばかりなので機械に頼るしかなくなった。緊急通報システムでコールセンターと結び毎日の安否確認の為、システム設置普及の活動をしている。

高齢になって環境が変わると新しくご近所付き合いするのが、難しくなる事から孤独死、へと繋がっていく。困ったことがあってもそれを訴える事ができず孤立。坂の上に立地する団地から買い物に行くにもバスの便を減らされた。高齢者への支援体制ができていない。

部屋からひっぱり出す為に地域の福祉施設、行政、地域自治会などと協力して団地周辺の高齢者も一緒に様々なイベント、例えば食事会、物産展を開くなどを仕掛け、地域による共助の関係づくりに努めている。



婦人部全体会

DVDを見て

—TBS東京マガジンと言う番組の“うわさの現場”として
放映されたDVD—

都は平成2年から老朽化した戸山団地を順次、建て替えたが、子連れの家が入居できるような間取りは少なく、むしろ高齢者を封じ込めるかのような1DK、2Kが半数を占める。建替えてバリアフリー、エレベーターが設置され便利になったのと引き換えに人と関わる機会も薄れたとの声もある。

戸山団地のおかれている現状、単身高齢世帯が多い団地構造、そしてその住居の間取りは、と言った視点から問題を提示している。若い世代が入居してこない、こられない今、高齢者予備軍の人々のこれからも

危機感はぬぐえないと感じた。(記録者 記)



本庄氏の講演とDVDの感想

- ▶ 今の話ですので 他人ごとでは無いと思いました。
- ▶ 年をとった方々にもっと心のやさしい行政をと願わずにいられません
- ▶ イベントについて。物産展は良い考えですね。商店街には気の毒だともいますが、買い物は頭の体操になってよいと思う。
- ▶ 高齢者については他人ごとではありません。近いうちに身にふりかかる問題です。近所の人との支え合いは大切だと思います。
- ▶ 人を集めるにはイベントと食事会を共にするというのは良い参考になりました。
- ▶ 切実な話でした。
- ▶ 気になる高齢化問題のお話が聞けて有意義でした。大変な問題で地域でいろいろ話し合いしなければと思いました。
- ▶ 容姿、話し方は年齢相応ですが、その行動力にはびっくりさせられました。「人と人をつなぐ会」の高齢者の方たちのパワフルな話にも引きつけられました。
- ▶ 今後のご活躍を期待しております。絶妙なしゃべり方も人の心をつかみますね。
- ▶ 話になれていらしゃらないのか、話が進んで行かず、もっとお話が聞かれず勿体ないと思った。DVDは短くつかみきれない、もっと長く見たかった。参考になりました。
- ▶ 今の年まで生きてこられたことに感謝してほしい。不満ばかりでなく、幸福を感じてほしい。暮らし方を考えたら・・・
- ▶ 高齢者の住宅問題の実情がわかって良かったです。

- ▶ 明日は我が身、助け合いの精神は大事な事ですね。改めて考えてみなくてはと感じました。
- ▶ 高齢になった時、建替えの大変さ、一人暮らしの人が部屋の大きさをきめられているのもおかしい
- ▶ 女性は強い、新宿だけでなくどこの地域でも同じです。健康であったら何でも出て皆で協力し合ってやっていく事 温かい声を掛け合ってやる事です。
- ▶ 今後の参考になります。
- ▶ 都営住宅の内情を知ることができて良かったです。
- ▶ 戸山団地の高齢者の活動が他地域にも広がればと思う。特に男性をどうしたら参加させるかの方法も考えてみたら。男性が好みそうなイベント等
- ▶ 緊急ボタンの配布 良い事だと思った。安心が第一です。
- ▶ 一等地に安い家賃で住み権利だけ主張しているのではないかと思った。子供や孫との関係も見えてこない。
- ▶ 高齢者が増えていくのは避けられない問題だとおもいます。大変な努力をされていると思います。
- ▶ 苦勞して生きてきました。末路の生活をつぶさに聞かされ何とも悲しい事でした。
- ▶ 近所で助け合うしかないですね。

